

浪江町 町政懇談会を 開催しました

問 企画財政課情報統計係
0240(34)0241

10月20日から11月20日にかけて、県内外7か所において浪江町町政懇談会を開催しました。町からは町内の復興状況と町の取組を説明し、その後、町民の皆さんと意見交換を行いました。意見交換での主な意見・質疑応答の内容（※一部抜粋・論点整理、要約して掲載）をお知らせします。



日にち	会場	参加人数
10月20日(日)	(二本松市) 安達文化ホール	13
10月21日(月)	(浪江町) 浪江町地域スポーツセンター	25
10月23日(水)	(郡山市) 中央公民館・勤労青少年ホーム	3
10月24日(木)	(いわき市) いわき市文化センター	14
10月31日(木)	(福島市) とうほう・みんなの文化センター	7
11月14日(木)	(仙台市) 仙台国際センター展示棟	18
11月20日(水)	(東京都) 星陵会館	11

いる弁護士などと相談しており、関係機関に時効延長の要望を行っております。

●住民票の異動

【問】住民票を異動しなくてもいいのはいつまでか。

【答】住民票は「原発避難者特例法」で特例が定められており、異動しなくても一定の行政サービスを避難している自治体で受けることができます。今のところ期限は設けられておりません。

いとところが多く、イノシシの隠れ家になってしまっている。対策を進めてほしい。

●町の財政

【問】町の財政は、収入の8割が国・県からの補助金などになっており、かなり厳しい状況にある。今後の計画をしっかりと立ててほしい。

【答】町の収入は、自主財源が15パーセント、国・県からの交付金が85パーセントとなっています。令和2年以降も復興庁と同等の組織を作ってもらい、支援が継続して行われるよう要望しております。

●農地管理

【問】管理されないと農地は荒れてしまう。対策を進めてほしい。

【答】立野、苅宿、北幾世橋、棚塩で地権者説明会を実施し、農地を貸したい人と借りたい人のマッチングを行い、地域の農地をどう管理していくかを検討していくことから始めております。他の地区についても準備が整い次第、順次同様に進めてまいります。

●町政懇談会の参加人数

【問】せっかくの町政懇談会なのに参加者が少ない。

【答】町としても残念に思いますが、今回の町政懇談会は、町民の皆さんの生活に直ちに影響を及ぼすテーマがなかったため、参加者が少なかったのだらうと考えています。今後はより多くの町民の皆さんに参加していただけるよう、周知などを工夫してまいります。

●町内の空きなどの草刈り

【問】宅地などで除草していな

長の要望・要求を行っております。

●上下水道料金の免除

【問】上下水道料金の免除はいつまでか。

【答】予算や議会との相談により決定していくこととなりますが、次年度の取扱いについては、早急にお示しできるよう努めてまいります。

●賠償

【問】東京電力への損害賠償請求の時効を延長してほしい。

【答】町を支援していただい

【答】国の施策であり、町として回答はできませんが、あらゆる機会を捉えて関係機関に対し延長の要望・要求を行っております。

●国民健康保険税・医療費負担の減免

【問】国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、医療費の一部負担、介護保険料などの減免・免除は継続するのか。

【答】いずれも国の施策でありますので、あらゆる機会を捉えて関係機関に対し制度延

●絆の維持

【問】町政懇談会のような、顔と顔を向かい合わせて話す機会を多く設けてほしい。

【答】現在、絆の維持が一番大事であると考えており、町政懇談会のような大々的な場以外でも要望があれば、町長、副町長をはじめとして職員が積極的に出席してまいります。

●高速道路無料化

【問】「ふるさと帰還通行カード」の使用期間を延長してほ